

無痛分娩を希望、または検討しておられる妊婦様へ

2023年6月15日

聖母病院産婦人科

無痛分娩を行うためには、妊娠中の準備が必要です。無痛分娩を強く希望している方だけでなく、例えば「できる限り自然に出産したいが、陣痛に耐えられなかったら、無痛分娩に切り替えたい」という方も、以下を参考に医師・助産師と相談しておきましょう。

妊娠 32 週ごろまで

出産方法を選択するために必要な情報収集を行い、不安や疑問は医師・助産師に相談しておきましょう。

- オンラインの『和痛（無痛）分娩クラス』、『自然分娩クラス』にご参加ください。
- 個別的な相談やご質問等は、担当医または外来助産師に相談ください。

妊娠 32～34 週ごろ

無痛分娩を希望している、または検討中の方は、担当医へお申し出ください。妊娠初期～中期に担当医にご相談された方も、再度、この時期にお願いいたします。

- 妊婦健診の際に担当医が「硬膜外麻酔分娩に関する説明同意書」を用いて、無痛分娩について説明いたします。（同意書は必要事項を記入の上、入院時に分娩室助産師へご提出ください）

妊娠 34～36 週ごろ

硬膜外麻酔に必要な検査、麻酔科医との面談があります。また計画無痛分娩（分娩誘発）か、なりゆき無痛分娩（自然な陣痛を待つ入院）か、担当医と相談しましょう。

- 後期助産師外来で、無痛分娩を含め、出産に関する疑問や不安を相談しましょう。
- 後期血液検査の際に、硬膜外カテーテル挿入のために必要な検査を行います。
- 麻酔科医が個別面談を行います（無料）。面談では硬膜外麻酔の方法、作用、副作用などについて動画を視聴していただいた後、麻酔に関する問診を行います。
- 計画無痛の場合は、子宮口の状態などにより医師が入院日を決定します。
- なりゆき無痛の場合は、自然陣痛などのご入院後、ご希望により硬膜外カテーテルの挿入を行います。夜間・休日・時間外は麻酔科医はオンコールのため、日中にカテーテルの挿入をお願いしております。

入院時

無痛分娩のご希望について、医師または助産師が再度確認をいたします。

- 入院の際には「硬膜外無痛分娩 同意書」へ必要事項をご記入の上、必ずご持参ください。
- 無痛分娩の希望について、医師や助産師にお申し出ください。